

製品名: カテプシン D ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21519**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:44kD;Observed MW:44kD

抗原情報

遺伝子名	CTSD
別名	CTSD;CPSD;Cathepsin D
遺伝子 ID	1509.0
SwissProt ID	P07339
免疫原	ヒトカテプシン D の合成ペプチド

背景

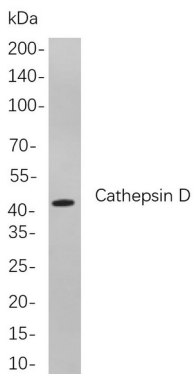
細胞局在: 分泌型。この遺伝子は A1 ファミリーのペプチダーゼをコードする。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって複数のタンパク質産物を生成する。これらの産物にはカテプシン D の軽鎖と重鎖が含まれ、これらはヘテロ二量体を形成

して成熟酵素を形成する。この酵素はペプシン様活性を示し、タンパク質のターンオーバー、ホルモンおよび成長因子のタンパク質分解活性化に関与する。この遺伝子の変異は、神経性セロイドリポフスチン症 10 の原因となるだけでなく、乳がんやアルツハイマー病など、他のいくつかの疾患の病因にも関与している可能性がある。[RefSeq 提供、2015 年 11 月]

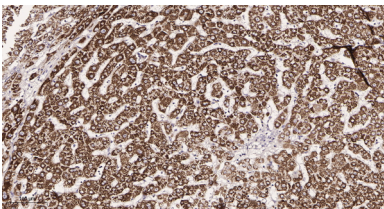
研究分野

-

画像データ



A431 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。カテプシン D ウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト肝臓組織の免疫組織化学分析。1、カテプシン D ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4℃、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98℃、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。